

かんちゃん通信

令和2年3月24日(火)発行 文責：林 寛

～突然の終了～

2月27日(木)の夕方に行われた政府会見で、安倍首相から全国の学校(自治体)に突然の休校要請がありました。これを受け、28日(金)の朝から教育学部で学部長や副学部長を交えた、4校園長の会議が行われ、その場で3月2日(月)から卒業式(卒園式)や修了式までの臨時休業が決定しました。

つまり、在園児、卒園児ともに3月2日からお休みに入り、令和2年度4月の前期始業式や入学式まで、登園(登校)しないことになったのです。子どもたちにとっては、約40日間のお休みとなりました。

私は教員になって33年になりますが、初めての事態です。「国難」と言っても過言ではないでしょう。我々や子どもたちの命にかかわる問題です。みんなで協力してこの難局を乗り切るしかありません。

子どもたちにとっては、大変残念な終わり方となってしましましたが、卒園式は挙行でき、年長さんは最後まで立派な姿を見せてくれました。本当に感動しました。小学校に入学しても、元気に頑張ってもらいたいです。

また、年中さんや年少さんは、4月から進級して1つ上のお兄さんやお姉さんになります。新しく入園してくるお友達のお世話も頑張ってもらいたいです。

現在の状態が落ち着き、子どもたちが、また幼稚園で元気に遊べる日が来るよう心から願っています。

～お世話になりました～

すでにお知らせしたとおり、本年度の人事異動により、私は4月から中国の深圳(しんせん)日本人学校に赴任することとなりました。最終的に渡航できるまでは、予断を許さない状況が続きますが、無事に深圳に着き、中国に住む日本人の小中学生や保護者のために全力を尽くす覚悟です。

これまでの2年間、保護者の皆様には大変多くのお力添えをいただきました。本当にありがとうございました。皆さんの協力おかげで、子どもたちに大きな事故や怪我もなく、無事に附属幼稚園を運営することができました。

2回目の着任となった附属幼稚園ですが、今回園長として働き、あらためてこの幼稚園のよさを実感しました。本当に子どもたちが楽しそうに過ごしています。登園しながら友達と「今日、何して遊ぶ？」と相談する姿がとても微笑ましかったです。みんな、好きな遊びを通して、様々な経験を繰り返し、少しずつ成長していきました。

幼稚園は、数値で子どもたちを評価しません。そこが、とてもいいところだと私は思います。いずれ子どもたちは、学校の成績や、社会に出ると仕事の結果の評価が、常に付いて回ります。幼児期は、結果ではなく、それまでの経過や成長の幅を見ていきます。

極端な言い方かもしれませんが、幼稚園は「心を育てる場所」と捉えています。これからも、学力と共に心が健全に、そして大きく育つことを祈っています。

日本に戻ってきたら、成長した子どもたちに会いに行くかもしれません。成長した子どもたちに再会することを楽しみにしながら行ってきます。

保護者の皆さん、またどこかでお会いしましょう。それまで、お元気で！！！！